

## あすみ野自治会

### 地域の行事から学べる場を

あすみ野自治会では、子どもの行事を行う際に「活動から学ぶ」を大事にしている。この代表的な行事が毎年の除雪活動。参加する子どもたちは例年 70 人ほど。市役所から除雪機を借りて操作する除雪隊 7 人と協力して実施。この取り組みは、全国学力テストの成績上位常連である秋田県の中学校で取り組んでいる除雪マニュアルも参考にしている。親や地域の大人が見本となり、大人の姿をみて自然と子どもが育つような活動モデルづくりに取り組んでいる。

また、高齢者の活動も活発に行われている。将棋や輪投げ等をしながらお茶を楽しむ「茶話会」、編み物・手芸などを楽しむ「趣味の会」、敬老会では毎月 1 回のグランドゴルフや歌声喫茶、ビンゴゲームなど盛りだくさん。今後は地域の高齢者が健康に長生きできるよう、食生活等のマニュアル作成といった取り組みも進めている。



(上) 除雪活動に参加する子どもたち  
(下) シニアの集いに参加したみなさん

### 行事の参加率も高めた防犯部

元防犯部長の佐藤英雄氏はあすみ野自治会発

足 (H10 年) 当初から役員として防犯活動に尽力。発足当時、道路の暗さに危険を感じ、市役所や警察署など関係各所に働きかけ、防犯灯の整備や防犯パトロールを行ってきた。佐藤氏の取り組みから、防犯部の意識も高まり、運動会や宣伝活動も防犯の一環として積極的に行われてきた。あすみ野自治会の行事参加率が高いのもこの活動のおかげ。長年にわたって、住みやすい地域を保つために中心となって防犯活動に取り組み、基盤作りをしてくれた人たちが現在もリーダーシップを取ってくれているからこそ、地域の人たちを巻き込んだ積極的な活動ができている。

今後は防犯活動の一環として、あいさつ運動に力を入れていきたい。長年の活動をとおして子どもたちが積極的にあいさつをしてくれるようになった。今度は大人もそれにしっかり応えていかなくてはならない。

### 自治会発の交通安全指導

小学生に交通安全の意識を高めてもらうため、令和 2 年に自治会で交通安全教室を実施。令和 3 年はコロナ禍で中止となったが、交通量の多い地区で子どもたちが安全に登下校できるよう、恒例行事にすることを目標としている。

交通安全指導部長の佐々木時男氏はこの活動に加え、毎日のスクールガードをしている。「朝早く、悪天候の日も活動をするのは大変だが、子どもたちから率先して挨拶をしてくれるようになり、卒業を迎えた小学生から「6年間ありがとうございました」と声をかけてもらえたときはうれしかった。」とやりがいを語った。



左から佐々木時男氏(交通安全指導部長)、佐藤英雄氏(元防犯部長)、大本義則氏(自治会長)、取材時撮影